

IgA 血管炎における消化管病変の臨床像と内視鏡的特徴

に関する後方視的検討

情報公開文書

日本赤十字和歌山医療センターでは、以下にご説明します研究を実施します。この研究への参加を希望されない場合は、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。またお申し出された場合でも、いかなる不利益を受けることはございませんので、ご安心ください。

研究目的

IgA 血管炎（Henoch-Schönlein 紫斑病）は皮膚、関節、腎臓に加えて消化管にも病変を生じることがあり、消化器症状を呈する症例では内視鏡検査が診断および治療方針決定に有用です。しかし、IgA 血管炎における消化管病変の臨床的特徴や内視鏡所見の詳細は十分に明らかになっていません。

本研究では、当センターにおいて内視鏡検査を施行した IgA 血管炎症例の臨床的特徴（臨床症状、血液検査所見、内視鏡所見、治療経過など）を後方視的に解析し、診断や治療方針の参考となる情報を得ることを目的としています。

研究期間

2025 年 9 月 1 日から 2028 年 8 月 31 日（3 年間）の予定

研究の対象となる方

2006 年 3 月～2024 年に当院消化器内科を受診し、IgA 血管炎と診断された 29 例。

研究の方法

電子カルテを使用し、患者さんの診療情報を匿名化したうえでデータを収集・解析します。臨床症状、血液検査所見、画像・内視鏡所見、治療内容や転帰について統計学的に検討します。

使用する情報および個人情報の保護

患者さん個人番号（ID）や氏名を含まない形で電子カルテからデータを抽出します。研究用パソコンはインターネットには接続せず、セキュリティを確保します。データ

は論文から 10 年間保存した後、適切に破棄します。

研究資金・利益相反について

該当する利益相反はなく、研究資金は日本赤十字社和歌山医療センターから提供されます。

研究計画書などの入手・閲覧方法・手続き

研究計画書などは入手・閲覧が可能です。ご希望される場合は下記までお問い合わせください。

個人情報の開示にかかる手続きについて

ご自身の情報を閲覧可能です。ご希望される場合は下記までお問い合わせください。

研究責任者

中野 省吾 日本赤十字社和歌山医療センター 消化器内科 医師

共同研究者

中野 省吾 消化器内科 部長

上野山 義人 消化器内科 部長

お問い合わせ先

日本赤十字社和歌山医療センター 総務課

電話 073-422-4171 (代表電話)

所在地 〒640-8558 和歌山市小松原通 4-20